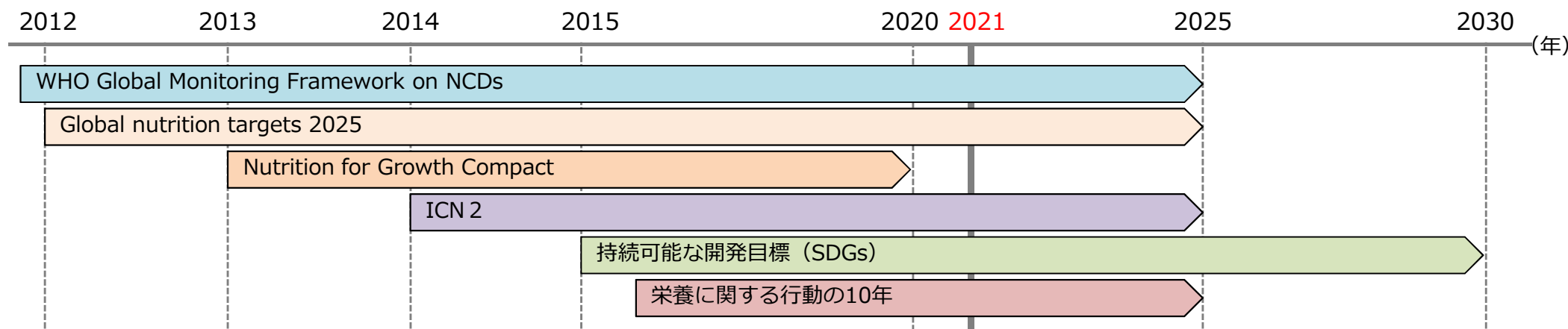


令和3年1月21日

- 「栄養サミット」は、英国の主導により開始した**栄養改善に向けた国際的取組**であり、2012年のロンドンオリンピック最終日に当時のキャメロン英国首相が開催した「飢餓サミット」をきっかけに、2013年にロンドンで初めて開催され、2016年はリオでも開催。
- 現在、栄養改善に向けた国際的取組が複数進行しており（下図参照）、その流れの中で、2017年12月に開催された「UHC フォーラム2017」において、安倍前総理から2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、東京で栄養サミットが開催される旨を発表。
- これまでの栄養サミットは、飢餓と低栄養が中心であったが、**東京開催では、過栄養のほか「栄養不良の二重負荷」をも対象**とした上で、これらの解決に向け、**持続可能な開発目標（SDGs）の推進にも資する議論**を予定。

〔開催概要（予定）〕

- ・ 日時：**2021年12月を目途に延期**（2020年7月に外務省ウェブサイトにて公表）
- ・ 会場：東京都内
- ・ 主催：日本政府
- ・ 想定される出席者：各国政府ハイレベル、国際機関、学術機関、市民社会、民間企業等
- ・ 目的：**世界の栄養改善の現状と課題を確認し、課題解決のための国際的な取組を推進する。**



【厚生労働省での対応】

- 厚生労働省は我が国の栄養行政を中心的に担う省庁として、これまでの栄養政策の知見・経験の共有も交え、国際的な議論に貢献しつつ、さらには、栄養に関する国際貢献（栄養政策の立案・展開支援）につなげていく。
- 本サミット開催に向けた準備を省内横断的に行っていく体制を確保するため、厚生労働省に厚生労働大臣政務官を本部長とする厚生労働省準備本部を2020年1月に設置。